

## 成果

- 1 参加目標 5万人を超える95,923名の参加登録  
～市民の日常にウォーキングが浸透～
- 2 リーダー設置1,000か所達成（予定）
- 3 多くのマスメディアに取り上げられ、横浜市が健康づくりに取り組む自治体として広く認知された
- 4 OECDから取組に対する高い評価
- 5 他の自治体への波及効果



## 成果が生まれた背景（理由）

- 市民の健康への高い関心
- 市民団体のはたらきかけ
- 商店街をはじめとするリーダー設置場所のご協力
- 区局・共同事業者一丸となったプロモーション活動
- 事業の目新しさ、参加のしやすさ



## 事業を支える方々からの声

- リーダー設置場所の周知が不足している
- 歩数データを送信しない参加者にデータ送信を促す方法を検討した方がよい
- 社会貢献のPRを積極的にした方がよい
- 申込後、歩数計発送までの時間がかかり過ぎ
- 歩数計を使って歩いているか把握しておくとうまい
- 景品の本数は増やした方がよい
- 生活圏内にリーダー設置場所がない
- 歩数計の初期設定を求められることが多い
- データ送信が出来なかった時の対応に苦慮する
- 来客が増えた



## 実施する上で感じた課題

- 【歩数計の配付】
  - 想定以上の申込み数による歩数計発送の遅れ
  - 歩数計希望色の対応
- 【事務局の運営】
  - 様々な内容の問合せに対する迅速な対応
- 【リーダー設置】
  - リーダー設置場所の拡大
  - リーダー設置場所へのフォロー体制の充実
- 【商品券、寄付】
  - 景品本数
  - 寄付についての認知度
- 【歩数データ送信】
  - 初期設定をしない参加者への働きかけ
  - 歩数データ送信率が低下する事
  - ウォーキングの継続性
  - 働く世代の参加促進



## 参加者の声

- 歩数計が届かない。いつ届くのか。
- 申込書で希望した色と違う色の歩数計が届いた。
- リーダー設置場所が近くにないので不便。
- リーダー設置場所が分かりにくい。
- パソコンが利用できないのでデータを見ることができない。
- リーダー設置場所で歩数データを送信できないことがある。
- 歩数データの送信が面倒でリーダーにのせていない。



参加者の声にどのように応えていくか

- （一方で）
- 市全体の順位、住んでいる区の順位が確認でき、目標となり生きがいを感じる。
  - 家族や友人との共通の話題が増えた。
  - 歩数が少ないときは、少し遠回りをしたり階段を使うようになった。
  - リーダー設置場所を訪れることで、今まで知らなかったお店を知ることができた。
  - 歩くことと寄付につながるの嬉しい。
  - 景品が歩く励みになっている。高価なものでもなくても良いので、多くの人が希望を持てるように賞品本数を多くしてほしい。
  - 歩数データ送信には行っていないが、歩数確認し、より多く歩くようにしている。

## 引き続き取り組むこと

- 1 継続して参加できる仕組み（事業の魅力アップ）
- 2 リーダー設置場所のわかりやすさ
- 3 パソコンが利用できない参加者へのフォロー（リーダー設置場所、歩数データ等の確認）
- 4 働く世代の参加促進（プロモーションの展開）

